

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公開番号】特開 2019-169016 (P2019-169016A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-57393 (P2018-57393)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/08 (2012.01)

【F I】

G 0 6 Q 50/08

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 20 日 (2021.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

< 施工データ記憶手段 >

施工データ取得手段 1 0 で取得した諸元データは、H D D 等からなる施工データ記憶手段 7 0 に記憶しておくことが可能である。例えば、サーバーに設置された H D D に諸元データを記憶しておき、ネットワークを介して諸元データを取得することにより、諸元データを一元管理することができる。ここで、ネットワークは、インターネット回線、一般電話回線、専用電話回線、有線 L A N、無線 L A N 等、データを送受信可能であれば、どのような構成であってもよく、これらを組み合わせて使用することもできる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

< 工程変更指示手段 >

工程変更指示手段 5 0 は、検出した不具合工程を現場状況に対応させて変更し、工程の変更指示データを出力するための手段であり、例えば、工程の変更指示データを出力するためのプログラムからなる。検出した不具合工程を現場状況に対応させて変更するには、例えば、施工シミュレーション手段 2 0 におけるシミュレートデータの中から、不具合工程を除去できるシミュレートデータを選択すればよい。